



右上：米袋、左上：ポロシャツ、右下：3色の手ぬぐい



しかむら 四ヶ村 × デザイン

生産者の想いを消費者に伝える

日本の棚田百選にも選ばれている大蔵村の四ヶ村地区。沼の台、豊牧（とよまき）、滝の沢、平林（ひらばやし）の4地区に広がる棚田は、地区ごとにその表情が違うものの、その景色は雄大だ。

そんな四ヶ村地区で棚田米を生産・販売している大蔵村棚田米生産販売組合の米袋などが「山形エクセレントデザイン大賞」を受賞した。米袋のほか、PR企画や販促のユニフォーム、広報資料を一貫して制作することで生産者と消費者を繋ぐ仕組みづくりが高く評価されたものだ。

棚田での米作りは、法面（田んぼと田んぼの間の斜面）の草刈りや一枚あたりの田んぼの面積が小さいなどの苦労もあるが、棚田を守り、この地で農業を続けていきたいという地元の人々の想いを、このデザインで感じてほしい。

山形エクセレントデザインとは？

県内で企画・開発・生産されている製品を対象に、優れたデザインについて、二年に一度選定・顕彰を行っている。

教えて！須藤組合長！

大蔵村棚田米生産販売組合の須藤組合長に、取り組みのきっかけやデザイナーさんに伝えた思いなどを伺った。



ポロシャツを着て写真撮影に応じてくれた須藤敏彦組合長

Q1 取り組みのきっかけは？

四ヶ村の知名度をあげなければという考えがありました。地域活性化計画を策定した際、計画の一環としてデザイン事業に取り組みました。また、米の消費量が減り続けているので、米袋も小さいサイズを用意するなど、手にとってもらえる工夫もしています。

Q2 デザイナーさんへ伝えた四ヶ村の強みは？

葉山からのきれいな水と8月から9月にかけての寒暖差です。棚田の景観の美しさはありがたいものですが、そこで生活できなければ守っていきません。デザイナーさんとアイデアを出し合って、このデザインになりました。

探してみても！四ヶ村のデザインあちこち

統一されたデザインの案内看板や、冬場は3メートルを超える積雪のある四ヶ村地区ならではの雪囲いなど、棚田と一緒に楽しむことができるデザインがいろいろ。訪れる際は、是非確認してみてください。

●冬期間限定のデザイン

地区内にあるふるさと味来館の玄関の雪囲い「おんだれ」。茅を束ねてすだれ状に編み込み、竹で組み立てた骨組みに「おしぼき」で固定していく。「おしぼき」を固定する縄の結び目まで美しく整えられ、職人・佐藤さんのこだわりが感じられる。



●味わってみて！なんばみそ

ふるさと味来館の須藤千代子さんお手製の、地元の野菜たっぷり南蛮味噌。ご飯のお供に、生野菜にディップしても！



●棚田の道しるべ

左は国道から四ヶ村への入口に設置されている看板、右は地区内の道路沿いに設置されているフラッグ。（冬期間は設置されていないものもあります。）



棚田米のお問い合わせ

大蔵村役場産業振興課 TEL：0233-75-2111（内線 232）商工観光係